

理研会報

発行 理科研究部
印刷所 理研会報局
成田市幸町948の1
成田川宇石

―実践記録―

二年「せっけんのとけ方」

を指導して

佐倉第一小学校 宮嶋和郎

(5年生作)

「せっけんのとけ方」の指導指
標を活動多く取り入れて試みた。
本学級の児童は、活動すること
特に全身を使って何かに取り組む
ことに拘り、手を競う意欲も非
常に強い。これは、本学級の児童
に限った事ではないと思う。

・おゆ、かき混ぜる
・溶けた物やかき混ぜたじょうゆ
物に器置してみよう(沈む物と
沈まない物に分ける)

その中で、本単元では自由に児童
各自が大きなシャボン玉を吹き
取り早く作る活動を取り入れる事
によって、児童自身がかくしく活動
しながら、自分自身の手で、溶か
し方を工夫したり、水を溶ける様
子をみたりして、物と水の変わる
様子及び水の通かきと物の溶ける
速さの違いなどに気付いていくよ
うに計画を立ててみた。

指導計画(5時間扱い)

1. いろいろな物を水に溶かしてみよう
(溶ける物・溶けない物で
分ける)

2. シャボン玉作りに入る、はやく
くっつくシャボン玉を作ろう、
大きなシャボン玉を作ろう、
おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作ろう

・溶ける物と溶けない物がある
・水の量は、さつぼう
・大きなシャボン玉を作ろう
・おゆに溶かしてシャボン

玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

・おゆに溶かしてシャボン玉
玉を作る

白井一小の公開研に参加して

根郷小学校 木川 香

十一月十七日、雨の中白井第一
小学校で即指導指定の理科公開研
究発表会が催されました。研究主
題は「ひじりあるさのさのさの理科
学習の成果をはかるにはどうした
らよいか」で、午前中は授業展開
と全体会、午後は分科会と講演(科
学教育評論家 山口豊先生)が
ありました。授業は響気・磁気に
関する単元を全学年一等級ずつ展
開されました。

この日は感想を折り返せながら
その一部を三級時としたらと思いま
す。

三年生・四年生の二等級を中心
に授業を参観させていただきました。
感想は

・二等級とも、子どもが活動す
る場を積極的に設けて子どもが
たのしみようと創意工夫して
二、活動に導くことができていたこ
と。

・問題提示にパンダのお面を見
せ、豆電球をつけたり、消し
たりして子どもの興味関心を
引き出した。

・活動が即思考であることが見え
ます。もちろん二等級は図を使っ
て自分の考えを表現したり、全体
なりグループで話し合ったりと

・今日の二等級指導等々の改訂でも
直接経験重視の方向や現場の積極
的な創意工夫等を取り入れている
ことでもわかるように、白井一小
での子どもが活動の場を多く設定
した授業が行われたことは、単
に二等級の上だけの理解に止まる
ことの多か。た今までの授業の反
省の上に立ってのことではなかっ
たかと感じます。子どもが主体的に
活動していることがよく見てい
れ、活動が即思考であることが見え
ます。もちろん二等級は図を使っ
て自分の考えを表現したり、全体
なりグループで話し合ったりと

・今日の二等級指導等々の改訂でも
直接経験重視の方向や現場の積極
的な創意工夫等を取り入れている
ことでもわかるように、白井一小
での子どもが活動の場を多く設定
した授業が行われたことは、単
に二等級の上だけの理解に止まる
ことの多か。た今までの授業の反
省の上に立ってのことではなかっ
たかと感じます。子どもが主体的に
活動していることがよく見てい
れ、活動が即思考であることが見え
ます。もちろん二等級は図を使っ
て自分の考えを表現したり、全体
なりグループで話し合ったりと

・今日の二等級指導等々の改訂でも
直接経験重視の方向や現場の積極
的な創意工夫等を取り入れている
ことでもわかるように、白井一小
での子どもが活動の場を多く設定
した授業が行われたことは、単
に二等級の上だけの理解に止まる
ことの多か。た今までの授業の反
省の上に立ってのことではなかっ
たかと感じます。子どもが主体的に
活動していることがよく見てい
れ、活動が即思考であることが見え
ます。もちろん二等級は図を使っ
て自分の考えを表現したり、全体
なりグループで話し合ったりと

・今日の二等級指導等々の改訂でも
直接経験重視の方向や現場の積極
的な創意工夫等を取り入れている
ことでもわかるように、白井一小
での子どもが活動の場を多く設定
した授業が行われたことは、単
に二等級の上だけの理解に止まる
ことの多か。た今までの授業の反
省の上に立ってのことではなかっ
たかと感じます。子どもが主体的に
活動していることがよく見てい
れ、活動が即思考であることが見え
ます。もちろん二等級は図を使っ
て自分の考えを表現したり、全体
なりグループで話し合ったりと

・今日の二等級指導等々の改訂でも
直接経験重視の方向や現場の積極
的な創意工夫等を取り入れている
ことでもわかるように、白井一小
での子どもが活動の場を多く設定
した授業が行われたことは、単
に二等級の上だけの理解に止まる
ことの多か。た今までの授業の反
省の上に立ってのことではなかっ
たかと感じます。子どもが主体的に
活動していることがよく見てい
れ、活動が即思考であることが見え
ます。もちろん二等級は図を使っ
て自分の考えを表現したり、全体
なりグループで話し合ったりと

のくり返しによって子どもたちは
鍛えられ、自分解決する喜びを感
じていたようである。

五年生の「音の性質」では、空
気が音を伝えるということを実証
するために直線鏡を使い、最後に
はガラスコップの中へ水がはいって
いること、直線鏡であることを実証
すること、子ども自ら考え出
していることなどは、師の導
けの力を感心させられた。

午後四小、中各分科会に分かれ
て実践発表が行なわれたが、小
校の物理では、「空気まっとう」を
生かして、「空気のまっとう」を
「てんびん」などの教材において
試行錯誤しながら向題の本質に迫
り、まいたこと、あるいは発
動の中でその動きを理解できたこ
となど、貴重な報告がなされた。

講師の先生からも指導等々の趣旨
を生かし、建設的な研究を進めて
ほしいという指導がなされた。

最後に千葉大教授の内田正男先
生による「まんびん」における基本
概念の形成について「小・中・高
における一貫性」という題で講演
があり、「てんびん」教材のつと
まがどのようにあるか指摘された。

肌寒い一日ではあったが、有意
義な一日を過ごすことができた。

〆あとのがき

数々の成果をあげた昭和五十三
年、あとも何日か暮れようとして
います。今までの実践のまとめを
してみたいかならう。

〆あとのがき

〆あとのがき

〆あとのがき

〆あとのがき

〆あとのがき

〆あとのがき

〆あとのがき

〆あとのがき